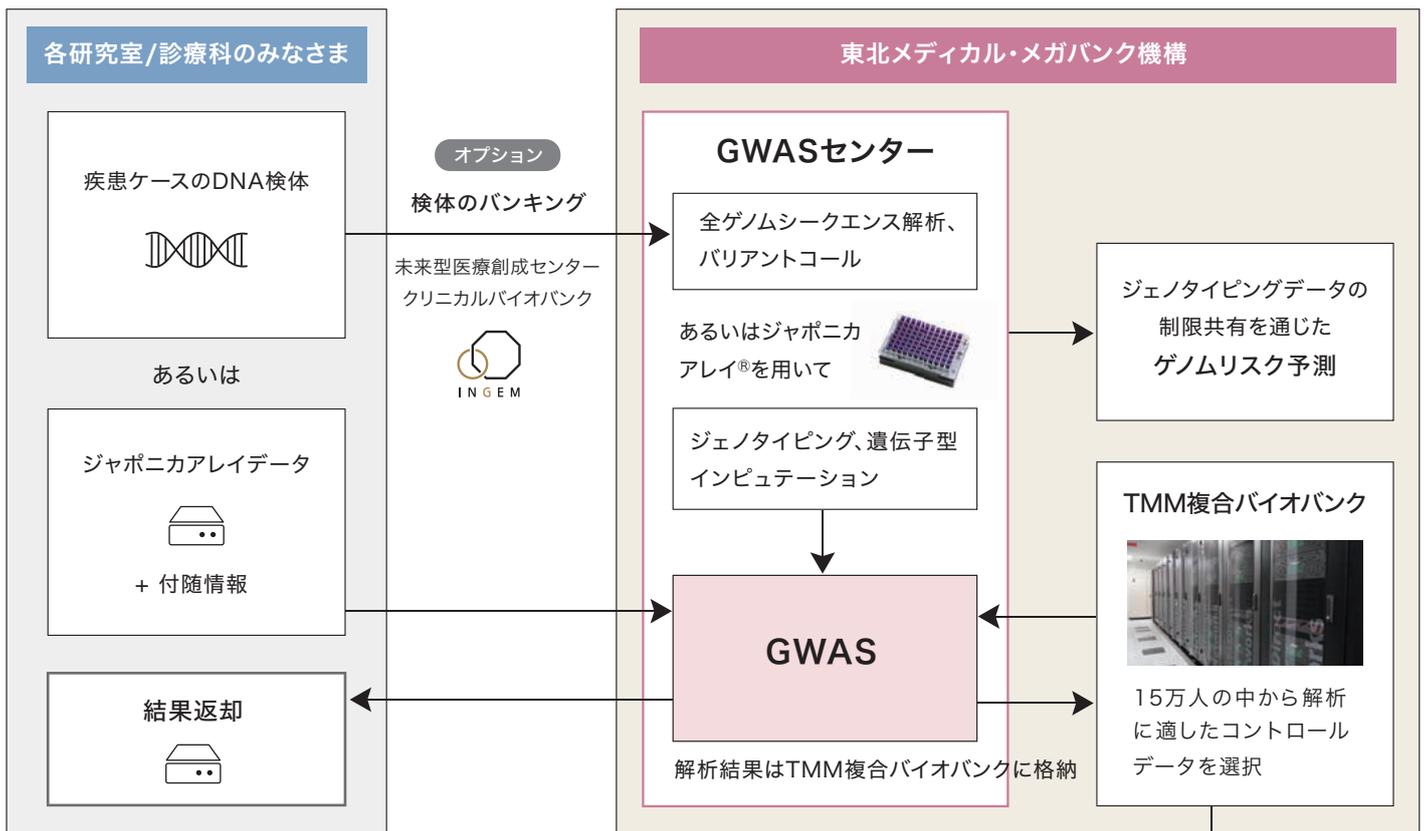


GWASセンター

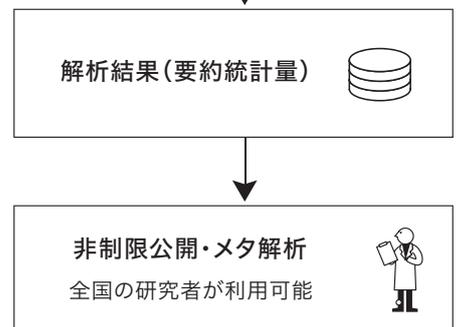
共同研究を募集します

東北大学東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo) の研究基盤を他機関との連携を通じて活用し、我が国のゲノム医療研究の推進に貢献することを目的として、2019年9月より機構内にGWASセンターを設置しました。成果の公開・共有を前提に共同研究を受け付け、全ゲノムシーケンス解析からバリエーションコールまで、あるいはジャポニカアレイ®によるデータ取得から遺伝子型インピュテーション、GWAS解析までをワンストップで実施いたします。また、適切な同意が得られていれば、ToMMoも参画する「未来型医療創成センター (INGEM)」で運営されている臨床生体バンクにて検体のバンキングを行うことも可能です。合わせてご相談ください。

■ GWASセンターにおける共同研究の概念



ToMMoは、「東北メディカル・メガバンク (TMM) 計画」におけるゲノムコホート研究、および複合バイオバンク構築を通じて、ゲノム医療の実現を目指しています。これまでに、TMM計画のコホート調査参加者を中心とした全ゲノム解析により、日本人の全ゲノムリファレンスパネル、基準ゲノム配列を構築・公開しました。また、日本人のゲノム情報取得に最適化したSNPアレイ (ジャポニカアレイ®) を開発、TMM計画参加者15万人のゲノム解析に活用して、大規模なコントロールデータを収集しています。これらの取り組みを通じて、ToMMoには解析基盤やデータが整備され、かつ、技術・ノウハウも蓄積されていることから、他機関との連携の中核として機能することが期待されています。



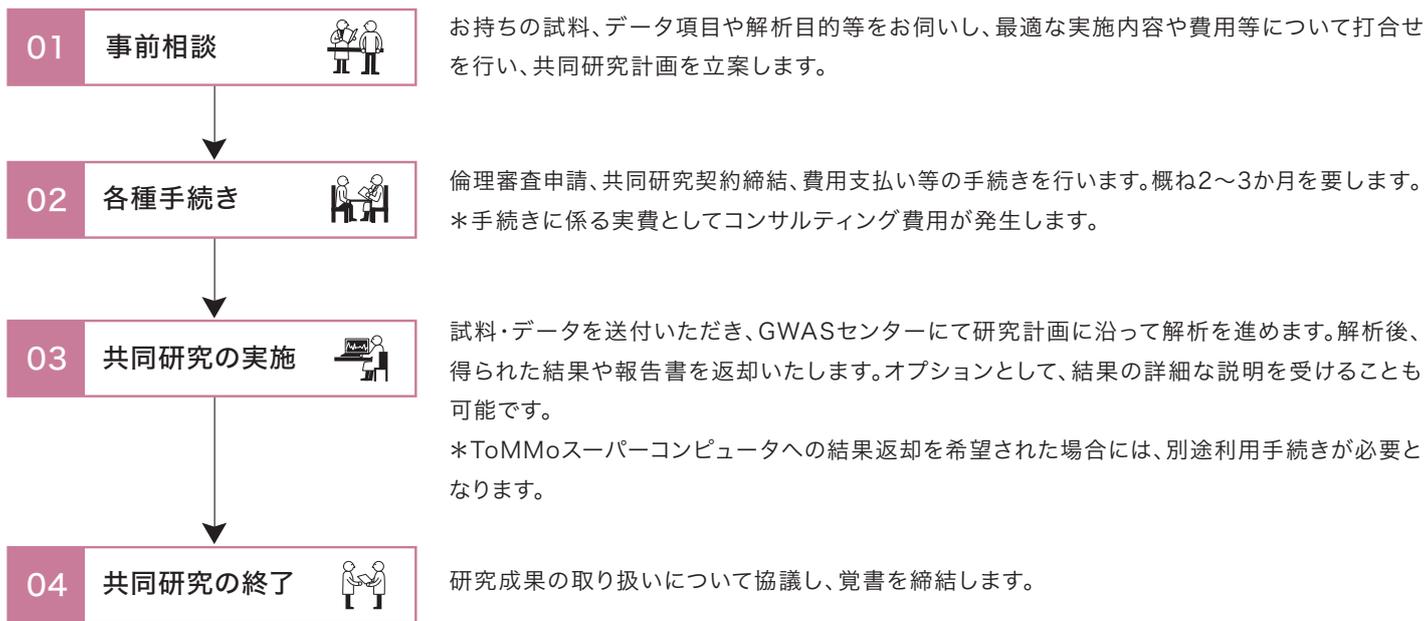
研究者の方々へ

どのような規模の検体・データを有する研究者でも、TMM計画の解析基盤や大規模データから得られるメリットを等しく享受いただきたいと考え、GWASセンターを設置いたしました。ToMMoの公的バイオバンクとしての役割をご理解いただき、要約統計量の公開やゲノムデータの制限共有等をいただける場合には、安価かつ高精度な解析が可能な当センターのご活用をご一考ください。

疾患検体をお持ちで全ゲノム解析やSNPアレイ解析を実施したい、あるいはすでにデータをお持ちで情報解析のみを希望している場合等でも柔軟に対応いたします。是非、お気軽にお問合せください！



共同研究の流れ



お問合せ窓口：東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 GWASセンター

センター長：田宮 元

副センター長・アレイ解析：櫻井 美佳

全ゲノム解析：勝岡 史城

 tommo-gwas@grp.tohoku.ac.jp

 022-273-6288(9:00~16:00)

*お問合せは、なるべくEメールでお願いいたします。

| 関連情報 |



東北メディカル・メガバンク
機構のGWAS解析



ToMMoスーパー
コンピュータ



東北大学
未来型医療創成センター